



〈1〉

「お年寄りにパソコンな 高齢者向けのパソコン講習
なんて100年早いですよ 会やスマートフォン講座は
！」と言われ続けて20年。 大人気。デジタル情報機器
老テク研究会は米国の非営 を使いこなす高齢者は増
利団体「シニアネット」に え、インターネットの電脳

パソコンで人生を取り戻す

老後を一変する情報革命

做い、65歳以上を対象にパ 空間は国境を超え、高齢社
ソコンや携帯電話などの活 会の未来を急速に変えつつ
用方法を伝えるボランティア ある。
ア活動を行ってきた。 高齢者がパソコン活用術
今では、全国各地にシニ を習得し、インターネット
アパソコンクラブがあり、 を通じて異なる世代や地域

の友人と出会い、新たな役
割を獲得している。趣味や
特技を生かした仕事や、社
会貢献活動から新たな生き
がいを発見しているのだ。
パソコンには「老化によ
る衰え」を補う機能も多い。

「高齢者向けのパソコン講習
なんて100年早いですよ 会やスマートフォン講座は
！」と言われ続けて20年。 大人気。デジタル情報機器
老テク研究会は米国の非営 を使いこなす高齢者は増
利団体「シニアネット」に え、インターネットの電脳

難になる人も多い。パソコ
ンには「文字拡大機能」や
「音声」を文字に変換してく
れる機能」「スケジュール
管理・お知らせ」機能など
がある。キーボード操作が
苦手な人には、「音声入力」
や「タッチパネル」など使
いやすい技術が次々に登場

している。

しかし、まだまだ多くの
高齢者は、こうした新しい
技術の恩恵を「知らない」、
「い」が現実である。一方、

あるいは「知っていても使
えない」「習いたくても近
所に教えてくれる人がいな
い」の現実である。一方、



老テク研究会の主催イベントで行ったネット
利用の実況放送—東京都渋谷区

情報機器やサービスを高齢
者に普及させたい企業や行
政の人たちは、「どうすれ
ば高齢者に使いやすい情報
機器になるのだろう？」と
困っている。

このコラムを通じて、高
齢デジタル達人たちの知恵
や工夫を紹介したい。(老
テク研究会事務局長・近藤
則子)



近藤則子

1951年・岡山県生まれ。国内
外のシニアネット団体の交
流を支援する活動をしながら、
総務省などの政府審議
会を通じて政策提言を行っ
ている。